

平成27年度

環境の保全に関して講じた施策の実施状況

甲斐市

目 次

望ましい環境像①	潤いある水と共に快適な生活環境のまち	1
望ましい環境像②	緑に囲まれた自然豊かなまち	9
望ましい環境像③	人と自然とが共生するまち	15
望ましい環境像④	循環型社会づくりが進むまち	20
望ましい環境像⑤	地球環境の保全を推進するまち	24
望ましい環境像⑥	各主体が協働で取り組むまち	29
環境指標一覧	33

望ましい環境像① 潤いある水と共に快適な生活環境のまち

望ましい環境像 ①

潤いある水と共に快適な生活環境のまち

【基本施策】

水環境の保全

公害の防止

環境美化活動の推進

【施策の方向性】

河川等の水質浄化
生活排水対策の推進
水質調査の実施
上水道の整備

公害防止対策の推進
公害苦情への対応
不法投棄の監視強化

環境美化市業の推進
環境美化推進システムの構築

取組	事業内容	主な成果	担当課
市民等による河川清掃の実施 【指標 2】	河川の浄化と水環境の改善を図るため、市民等と連携して、地区一斉河川清掃を継続して実施しています。	清掃方法等の市の実施要領に基づき、各自治会（区）単位で堰や水路等の清掃活動を行いました。 ○平成 27 年度実施日 ・竜王地区：4 月 19 日（日） ・敷島地区：12 月 6 日（日） ・双葉地区：7 月 5 日（日） [指標 2] 総合計画の甲斐市市民アンケート 平成27年度実施なし 参考：平成26年度結果 71.6%	環境課
広報等による啓発	広報等を通じて、河川水質の保全に対する市民意識やモラルの向上を図り、ごみの不法投棄を抑制・防止しています。	市民からの通報等により、ごみや油等が市内の河川に投棄された状況が見受けられたことから、除去や原因等を調査しました。	環境課
水路の整備	状況に応じた水路の整備や改修を行うとともに適正な管理を行い、水辺改善を図っています。	各自治会(区)から要望等に基づき、緊急性や必要性等を勘案し、随時、水路の改修・整備を行うとともに適正な維持管理に努めました。 平成 27 年度については、国庫補助事業であります、農業基盤整備促進事業を活用した中で、3 路線、延長 304m、土地改良施設維持管理適正化事業として 4 路線、延長 596mの農業用水路の改修を実施しました。	建設課 農林振興課
ため池の整備・管理	災害に強いため池の整備と維持管理をすることにより、水環境の改善と市民の憩いの場である親水空間としての機能の維持に努めています。	平成 26 年度において県営土地改良中山間地域総合整備事業の事業認可を受け、菖蒲沢地区の「泉ため池」については平成 29 年度より改修事業を予定しています。 また、「竜地大ため池」・「大久保ため池」については住宅地が近接しているため、平成 27 年度に農村地域減災防災事業において事業計画概要書を作成し、今後順次改修事業を予定しています。	農林振興課

取組	事業内容	主な成果	担当課																				
ホタルの生息環境づくり	市民の河川水質浄化の意識を高めるため、市民等によるホタル生息環境づくりの保全活動に協力しています。	<p>市内で積極的なホタル保全活動をしている2団体について、その活動を支援するため、団体が主催するイベントを広報で周知し、また、一部運営に協力しました。</p> <p>○ホタル保全活動団体 信玄堤ホタルゆめ銀河の会（ホタル鑑賞会：6月6日・7日実施） 米笠ホタル愛育会（米笠ホタルまつり：6月27日実施）</p>	環境課																				
公共下水道事業の推進 【指標1】	公共下水道事業を推進するとともに、下水道への接続を促すことにより、河川の水質保全を進めています。	<p>本市の全体計画整備面積 1,799ha のうち、平成 27 年度までに 1,194ha（下水道整備面積 66.37%）の区域において下水道を整備しました。</p> <p>※平成 27 年度において全体計画の見直しを行い、対象面積が拡大。</p> <p>《年度別整備面積と整備率》 全体計画整備面積 1,799ha</p> <table border="1" data-bbox="958 762 1832 916"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>24 年度</th> <th>25 年度</th> <th>26 年度</th> <th>27 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度整備面積 (ha)</td> <td>24.04</td> <td>16.66</td> <td>31.52</td> <td>6.64</td> </tr> <tr> <td>累計整備面積 (ha)</td> <td>1,139.10</td> <td>1,155.76</td> <td>1,187.28</td> <td>1,193.92</td> </tr> <tr> <td>整備率 (%)</td> <td>64.13</td> <td>65.17</td> <td>66.85</td> <td>66.37</td> </tr> </tbody> </table> <p>[指標 1] 平成 27 年度末 浄化槽等処理人口調査から （下水道処理人口 55,286 人＋農排等 101 人＋コミュニティプラント 1,877 人＋浄化槽 7,727 人）÷人口 74,880 人 =86.8%</p>	年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	年度整備面積 (ha)	24.04	16.66	31.52	6.64	累計整備面積 (ha)	1,139.10	1,155.76	1,187.28	1,193.92	整備率 (%)	64.13	65.17	66.85	66.37	下水道課
年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度																			
年度整備面積 (ha)	24.04	16.66	31.52	6.64																			
累計整備面積 (ha)	1,139.10	1,155.76	1,187.28	1,193.92																			
整備率 (%)	64.13	65.17	66.85	66.37																			
農業集落排水処理施設の管理	寺平地区の生活排水の処理を行う農業集落排水処理施設について、施設の適正な維持管理を行い、水質浄化を図っています。	荒川上流部に位置する寺平地区の生活排水は、農業集落排水処理施設において処理しており、寺平地区全ての世帯（38 世帯）が加入しています。施設・機器等の定期的な保守点検・改修により、適正な排水処理を行っており、常に基準値内の処理水にして河川に放流しています。	下水道課																				

取 組	事業内容	主な成果	担当課																								
<p>地域し尿処理施設の管理</p> <p>【指標 1】</p>	<p>地域し尿処理施設により生活排水の処理を行っている地区について、施設の適正な維持管理を行い、水質浄化を図っています。</p>	<p>敷島台団地と松島団地、双葉登美団地の3つの地区において、地域し尿処理施設（コミュニティプラント）により、地区全体の生活排水の処理を行っています。</p> <p>このうち、双葉登美団地については、当該地区住民で組織する双葉登美団地汚水処理施設管理組合が指定管理者となって管理・運営しており、他の2地区は市が管理・運営を行っています。</p> <p>3地区とも、施設・機器等の定期的な保守点検・改修により、適正な排水処理を行っており、常に基準値内の処理水にして河川に放流しています。</p>	<p>下水道課</p>																								
<p>合併浄化槽の推進</p> <p>【指標 1】</p>	<p>公共下水道の計画区域外である睦沢、清川、吉沢、大久保、天狗沢（一部）、牛匂（一部）、米沢、笠石、菖蒲沢、新田の10地区において、市が合併浄化槽の設置・管理を行う市町村設置型合併浄化槽整備事業を推進しています。</p> <p>また、事業以外の浄化槽設置世帯に対しては、適正な維持管理について啓発しています。</p>	<p>本市では、地域再生計画に基づく地域再生計画「‘かい’水環境向上計画」を平成24年度に策定し、平成25年度から29年度までの5年間の第2次計画期間として、対象世帯数816戸のうち100戸に合併浄化槽を整備することとし、平成27年度は10戸の整備を行いました。</p> <table border="1" data-bbox="931 767 1861 970"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>20～24年度 (第1次)</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設置(戸)</td> <td>138</td> <td>20</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>178</td> </tr> <tr> <td>移譲(戸)</td> <td>28</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>計(戸)</td> <td>166</td> <td>22</td> <td>10</td> <td>12</td> <td>210</td> </tr> </tbody> </table>	年度	20～24年度 (第1次)	25年度	26年度	27年度	計	設置(戸)	138	20	10	10	178	移譲(戸)	28	2	0	2	32	計(戸)	166	22	10	12	210	<p>環境課</p>
年度	20～24年度 (第1次)	25年度	26年度	27年度	計																						
設置(戸)	138	20	10	10	178																						
移譲(戸)	28	2	0	2	32																						
計(戸)	166	22	10	12	210																						
<p>公共用水域の水質検査</p> <p>【指標 3】</p>	<p>市内の河川や小河川の水質を継続的に検査し、経年変化の把握と工場や生活排水による河川への影響を調査しています。</p> <p>また、調査結果は公表するとともに、水環境の保全対策に活用しています。</p>	<p>市内に流れる一級河川等について、環境省が定める「水質汚濁に関する環境基準」に関する水質検査を行いました。</p> <p>また、検査結果は、広報やホームページで公表しました。</p> <p>○人の健康の保護に関する環境基準 7地点 ○生活環境の保全に関する環境基準 19地点</p> <p>[指標 3]</p> <p>BOD値が平均で3mg/l以下であった地点→ 16地点 河川10地点+小河川9地点=計19地点→ 16/19=84.2%</p>	<p>環境課</p>																								

取組	事業内容	主な成果	担当課
安全で安定した水の供給の推進	市の「水道ビジョン」に基づき、安全、安心な水を安定的に供給しています。また、老朽化した水道施設については、計画的に改修・更新しています。	<p>主な施設整備事業として、西八幡配水池補修工事、菖蒲澤配水池緊急遮断弁設置工事、下今井配水池No.3 配水ポンプ更新工事等を行いました。</p> <p>その中でも下今井配水池No.3 配水ポンプ更新工事では、ポンプのインバータ化によって、効率的な運転を行い、消費電力と環境負荷の低減に努めました。</p> <p>老朽配水管の更新については、下水道管渠整備との同時施工や浅層埋設により、使用機材や資材の縮減を図り、環境に配慮した施工を行いました。また、管路の耐震化や石綿管の全布設替を完了するなど、安定的な供給を確保するための計画的な更新整備に努めました。</p>	上水道課
公害防止協定の締結	工場等に対して、公害防止に関する規制基準の遵守を指導するとともに、地域住民の健康と生活環境の保全の観点から必要と認められる場合は、公害防止協定の締結に努めています。	<p>国や条例に基づく特定施設（汚染物質を取り扱う工場）については、県と協力して立ち入り調査を実施し、適正な作業方法等について指導を行いました。</p> <p>また、過去に公害防止協定を締結した1社からは、同協定に基づき、同社における定期的な水質検査の実施・報告を受けるとともに、本市への影響の把握に努めました。</p>	環境課
環境測定事業の実施	公害や生活環境への影響等に関連する事項について環境測定を実施し、監視体制を強化します。また、測定結果に問題がある場合は、関係機関と協力して原因を究明するとともに、指導、是正等の対策を講じます。	<p>環境に関する各種検査を実施しました。</p> <p>また、検査結果は、広報やホームページで公表しました。</p> <p>○河川水質検査 10 地点 ○小河川水質検査 9 地点 ○地下水水質検査 31 地点 ○河川底質汚泥検査 3 地点 ○土壌ダイオキシン類測定分析検査 2 地点 ○空間放射線量測定 69 地点 ○自動車騒音常時監視 4 地点</p>	環境課
アスベスト対策への支援	アスベスト飛散による市民の健康保護の観点から、建築物のアスベストの除去を行う事業者に対して、今後も継続して支援しています。	<p>多数の者が利用する建築物を対象に、事業者が行うアスベストの含有の有無に関する調査費用やアスベストの除去や封じ込め等の措置に対して、国・県の補助制度を利用した市の補助金交付制度を平成20年度より実施しています。</p> <p>また、ホームページや広報等により、制度の周知に努めています。</p>	建設課

取 組	事業内容	主な成果	担当課																		
苦情の相談窓口 【指標 4】	苦情相談は迅速に対応し、発生原因を調査するなかで、発生源者への改善等について指導を行っています。 また、法や条例に基づく指導に該当しない場合は、近隣の生活環境に配慮するための助言や、申立人と発生源者との調整を行っています。	平成 27 年度における野焼きや騒音等に関する苦情相談は 318 件あり、すべて職員による現地調査や聞き取り調査等を行い、発生源者には是正が必要な案件については、行政指導を行いました。 ○平成 27 年度苦情件数 合計 318 件 <table border="1" data-bbox="947 443 1854 598"> <thead> <tr> <th>水の汚れ</th> <th>野焼き</th> <th>土壌汚染</th> <th>悪臭</th> <th>騒音</th> <th>振動</th> <th>地盤沈下</th> <th>不法投棄</th> <th>雑草等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6 件</td> <td>49 件</td> <td>0 件</td> <td>16 件</td> <td>9 件</td> <td>1 件</td> <td>0 件</td> <td>96 件</td> <td>141 件</td> </tr> </tbody> </table> (公害苦情調査) [指標 4] 公害苦情件数→ 上記件数合計 318 件	水の汚れ	野焼き	土壌汚染	悪臭	騒音	振動	地盤沈下	不法投棄	雑草等	6 件	49 件	0 件	16 件	9 件	1 件	0 件	96 件	141 件	環境課
水の汚れ	野焼き	土壌汚染	悪臭	騒音	振動	地盤沈下	不法投棄	雑草等													
6 件	49 件	0 件	16 件	9 件	1 件	0 件	96 件	141 件													
空き地等への指導	空き地の雑草や空き家について、土地等の所有者等に対して適正な管理を指導しています。また、広報等により適正な管理を啓発しています。	市民からの通報等により、適正な管理が行われていない土地等の所有者等に対し、「甲斐市空き地に繁茂する雑草の除去に関する条例」に基づき、雑草の除去等について指導を行いました。 また、前年度に指導対象となった土地等の所有者等に対し、雑草が繁茂し始める 7 月上旬に、一斉指導通知を送付しました。 ○平成 27 年度実績 <table border="1" data-bbox="978 954 1675 1082"> <thead> <tr> <th></th> <th>件 数</th> <th>面 積</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指 導</td> <td>176 件</td> <td>107,047.38 m²</td> </tr> <tr> <td>除 去</td> <td>146 件</td> <td>85,669.78 m²</td> </tr> </tbody> </table>		件 数	面 積	指 導	176 件	107,047.38 m ²	除 去	146 件	85,669.78 m ²	環境課									
	件 数	面 積																			
指 導	176 件	107,047.38 m ²																			
除 去	146 件	85,669.78 m ²																			
放射線の測定	福島第一原子力発電所の事故に伴う市内への影響を監視するため、空間放射線量率の測定を継続的に行うとともに、放射能関連の情報を収集し、情報の提供に努めています。	市役所本館前において、週 1 回空間放射線量を測定し、その結果をホームページで公表しました。 また、学校等の市公共施設や私立幼稚園・保育園 68 ヶ所については、各施設とも年 2 回空間放射線量の測定を実施し、ホームページで公表しました。	環境課																		

取 組	事業内容	主な成果	担当課												
ペットの適正飼育	<p>犬や猫等のペットの適正飼育や動物愛護のため、飼い方のマナーやルールについて普及・啓発に努めています。</p>	<p>広報やホームページを通じて、飼い方やマナー等の情報について随時、発信するとともに、近隣市町と共同して、市民を対象とした「犬のしつけ方教室」を開催しました。</p> <p>また、野良犬・野良猫対策として、飼育者による犬や猫の不妊去勢手術に対する補助金を交付しました。</p> <p>○平成 27 年度不妊去勢手術費補助金交付件数</p> <table border="1" data-bbox="981 533 1621 647"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>不妊</th> <th>去勢</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>犬</td> <td>56 頭</td> <td>60 頭</td> <td>116 頭</td> </tr> <tr> <td>猫</td> <td>91 頭</td> <td>65 頭</td> <td>156 頭</td> </tr> </tbody> </table>	種類	不妊	去勢	計	犬	56 頭	60 頭	116 頭	猫	91 頭	65 頭	156 頭	環境課
種類	不妊	去勢	計												
犬	56 頭	60 頭	116 頭												
猫	91 頭	65 頭	156 頭												
不法投棄の防止	<p>不法投棄防止の看板を土地所有者等に提供するとともに、広報等により防止対策の普及・啓発を行っています。</p>	<p>希望する土地所有者名に対して、不法投棄防止の啓発看板を 26 枚提供しました。</p> <p>また、不法投棄監視員 30 名（竜王 2 名・敷島 20 名・双葉 8 名）を委嘱し、定期的なパトロールを実施するとともに、県の対策協議会と連携して、不法投棄物の撤去を行いました。</p>	環境課												
監視体制の強化	<p>不法投棄監視員の設置による定期的なパトロールを行い、警察や住民と連携して、監視体制の強化に努めています。</p>	<p>不法投棄監視員 30 名（竜王 2 名・敷島 20 名・双葉 8 名）を委嘱し、定期的なパトロールを実施するとともに、県の対策協議会と連携して、不法投棄物の撤去を行いました。</p>	環境課												
環境美化清掃活動への支援	<p>自治会における河川清掃等の自主的な環境美化・清掃活動を推進するため、活動への支援を行っています。また、ボランティア団体等が実施する清掃活動に対して、ごみ袋の提供等により支援しています。</p>	<p>環境衛生事業補助金交付制度により、市内の 135 自治会に対し、世帯数に応じた補助金を交付し、地域における自主的な環境美化活動に対する経費負担の軽減を図りました。</p> <p>また、ボランティア団体等が実施する清掃活動には、団体からの申し出により、ごみ袋を無料で提供しました。</p> <p>○平成 27 年度補助金交付額：9,172,750 円 ○自治会における環境美化活動回数：594 回（延べ 41,380 人参加）</p>	環境課												

取 組	事業内容	主な成果	担当課
マナーの向上	公園や道路等へのごみのポイ捨てやペットのふん放置を防止するため、マナーの向上について周知・啓もうしています。	広報やホームページ、チラシ作成等により、ペット飼育マナーについて周知・啓もうするとともに、希望者には、ふんの放置を警告する看板を配布しました。 また、ふん害苦情の現場を適宜巡回し、ふん害の防止に努めました。	環境課
アダプトプログラムの推進	アダプトプログラムの導入を研究し、地域の公園、道路、河川等を地域住民自らが美化する活動を推進します。	富士川流域河川一斉清掃（7月4日） 一般市民約900人の参加により、信玄堤からライオンの森までの4km間で、ゴミ200kgを収集しました。	建設課

望ましい環境像 ②

緑に囲まれた自然豊かなまち

【基本施策】

農の緑の保全

森の緑の保全

生物多様性の確保

【施策の方向性】

農業基盤の整備
農業の振興、担い手の育成
耕作放棄地の解消

森林の保全活動の推進
地場産材の利活用の推進
間伐材の利用の促進

野生生物の保護
生物多様性の啓発

取組	事業内容	主な成果	担当課
優良農地の保全	効率的な農業を推進するため、農業振興地域内の農地の転用を規制し、優良農地の確保を図っています。	概ね 10 年を目標として策定している本市の農業振興地域整備計画において、農業の振興を図るべき区域を明らかにし、その土地の農業上の有効利用と農業の近代化のための施策を総合的かつ計画的に推進し、農業振興地域内の農地の転用の規制や優良農地の確保に努めています。 また、計画については、毎年随時見直しを行うとともに、5 年毎に総合見直しを実施しています。	農林振興課
農地の流動化の促進	農業の生産性向上のため、農地の利用集積の円滑化を促進し、農地の流動化と有効利用を図っています。	農業委員会では、農家の高齢化や後継者不足による耕作放棄地の解消策として、農地の貸し借りが円滑に行えるよう農地銀行の設置や国の事業である中間管理事業（農地の貸し借りを公的機関（農業公社など）が仲介）を推進し、農地の流動化と有効利用を図っています。 平成 27 年度の利用権設定件数 41 件 また、平成 23 年度から、農地等の効率的な利用に向け、農地の集積を促進するため「農地集積円滑化団体」を農林振興課内に設置し、農地の貸し借りが円滑に行えるよう体制を整えています。	農林振興課
施設の整備	農業の生産性を向上させたり、付加価値を高める農業用施設の整備を促進します。また、経営規模の拡大を可能とする農地集積を推進し基盤整備を支援します。	平成 27 年度については、農道 1 路線、L=71m、水路 7 路線、L=900m の改修改良を行ないました。それにより農作業が効率的になり、耕作面積の拡張が見込まれます。 県のやまなし農業ルネサンス総合支援事業の補助金を活用し、特産品の販路拡大及び生産性の向上を図るため機器整備を行いました。 ※補助内容 事業費の 1/2 を補助	農林振興課

取 組	事業内容	主な成果	担当課
<p>地域にあった農産物の生産と普及</p>	<p>地域の特性を生かした農産物のブランド化を推進するとともに、安全で安心な農作物の生産及び普及に努めています。</p>	<p>市では、耕作放棄地の解消と収益性の高い農産物による魅力ある農業の展開を目指して、平成 21 年度に県、市、J A、生産者代表、自治会代表を構成員とした「赤坂地区活性化協議会」を設置し、野菜を中心とした農産物のモデル栽培に取り組んでいます。</p> <p>○農山漁村活性化プロジェクト支援交付金を活用し、ハウスを建設。平成 21 年 9 月より、ハウス (2,016 m²) による養液栽培で「とまと」の栽培を開始しました。</p> <p>○P R 用ロゴマークの商標登録や生産情報 J A S 規格の認定を受け、ブランド化を図っています。</p> <p>平成 24 年度からは、トマトに続く農作物として、サツマイモ (黄金千貫、安納芋) 栽培を開始し、平成 27 年度には収穫した黄金千貫 6 トンを原材料とした焼酎の製造にも取り組みました。</p> <p>また、堆肥別比較のアスパラガス試験栽培を開始し、市内全域での栽培方法を検証しています。</p>	<p>農林振興課</p>
<p>認定農業者への支援と新規就農者の確保</p> <p>【指標 5】</p>	<p>本市の農業の中核を担う認定農業者など、意欲ある担い手を育成・支援しています。また、就農相談や研修支援による新規就農者の確保に努めています。</p>	<p>認定農業者を対象に、効率的・安定的な農業経営の育成を図るため、融資機関が農業者に対して行う農業近代化資金を低利で融通するための利子補給事業に取り組んでいます。</p> <p>○利子補給件数 平成 27 年度 5 件</p> <p>また農業委員会では、平成 23 年度から農家のみなさんが抱える農地に関する問題について、行政書士による無料相談会を実施しています。</p> <p>[指標 5]</p> <p>認定農業者数 33 人</p>	<p>農林振興課</p>

取 組	事業内容	主な成果	担当課
耕作希望者の受け入れ態勢の強化	<p>農業者の高齢化による労働力不足に対応するため、農業生産法人や農業ボランティアなどの育成を促進するとともに、新たに農業参入に取り組む法人などへの支援策を検討します。</p>	<p>認定農業者や、農業生産法人との協働により都市農村交流事業により、耕作放棄地の積極的な活用を図っています。</p> <p>平成 27 年度 新規認定農業者：農業生産法人 1 社</p>	農林振興課
都市農山村交流の推進 【指標 7】	<p>中山間地域を中心とする地域の活性化を図るため、交流施設や農業体験施設などの整備・充実を進め、都市と農山村との交流を促進しています。</p>	<p>都市農山村交流施設として、敷島地区の中山間地域において地元農家より遊休桑園を市が借り上げ、滞在型 50 区画と日帰り型 25 区画の農園(クラインガルテン園)、クラブハウスが整備されています。</p> <p>また、平成 19 年度からは、農事組合法人ゆうのう敷島を指定管理者とし、組合独自の様々な事業を行うなかで、都市と農山村の交流が行われています。</p> <p>○実施事業 都市農山村交流事業、農産物直売、農業体験 ○事業参加者数 平成 27 年度実績値：延 20,394 人→ [指標 7]</p>	農林振興課
遊休農地や耕作放棄地の現状把握	<p>農業の再生・振興事業を効果的に進めるために、遊休農地や耕作放棄地の現状を把握し、就業希望者への情報提供を積極的に行います。</p>	<p>毎年、農地の利用意向調査を行い、遊休農地や耕作放棄地の農地所有者に農地利用意向調査を行っています。</p> <p>平成 27 年度については、「人・農地プラン」のモデル地区である龍地地区及び牛句・亀沢地区で農地利用意向調査を行いました。併せて、農業委員による現地調査を随時行いました。</p>	農林振興課
耕作放棄地の有効活用 【指標 6】	<p>耕作放棄地の発生防止や解消のため、各種事業に取り組むとともに、有効活用策について調査・研究しています。</p>	<p>農地中間管理事業を推進する農地集積・集約対策事業を活用し、遊休農地の解消を図るため、平成 27 年 3 月に担い手への農地の流動化を推進するモデル地区として、「人・農地プラン」に龍地地区及び牛句・亀沢地区を選定しました。</p> <p>[指標 6] 耕作放棄地/(耕地面積+耕作放棄地)</p> <p>H27 年度 3,140,232 m²/14,738,929 m²=21.3%</p> <p>H26 年度 3,004,884 m²/14,903,267 m²=20.2%</p>	農林振興課

取 組	事業内容	主な成果	担当課
作り手のいない農地の再生	耕作放棄地の解消に向けて、作り手のいない農地を再生・利用する農業者に対して支援します。	平成 27 年度より、農地中間管理機構へ貸付けを行う農地について、農地として使用するための抜根等整備が必要な場合については、10 アールあたり 20 万円を上限として、整備費の補助が受けられるようになりました。	農林振興課
森林の機能の維持・回復	枝打ちや間伐等の手入れなどの森林整備計画に沿った指導を行い、森林機能の維持に努めます。 また、土砂災害に強い健全な森林の保全・育成を図っています。	木材生産の他、国土の保全、水源のかん養、自然環境の保全等の森林の機能の調和を図りつつ、適正な森林の造成を計画的かつ効率的に行うことができました。 平成 24 年度 除間伐・下刈り 5.23 h a 植林 2.08 h a 平成 25 年度 除間伐・下刈り 4.25 h a 植林 2.08 h a 平成 26 年度 除間伐・下刈り 5.24 h a 植林 1.87 h a 平成 27 年度 除間伐・下刈り 11.05 h a 植林 2.19 h a	農林振興課
森林資源の適正な管理	松くい虫の被害が広がっている地域においては、引き続き計画的に駆除を行っています。	松くい虫等の早期駆除及びそのまん延の防止に努め森林の保全を図るように事業を推進しました。 平成 24 年度松くい虫防除数量 574 m ³ 平成 25 年度松くい虫防除数量 525 m ³ 平成 26 年度松くい虫防除数量 410 m ³ 平成 27 年度松くい虫防除数量 532 m ³	農林振興課
木質系バイオマスの利用促進	ペレットストーブやペレットボイラー等によるペレット燃料の利用を促進します。また、間伐材を利用した製品の開発・製造について調査を行い、木質系バイオマスにおける事業化を研究します。	間伐材・林地残材等を活用した木質バイオマス発電プロジェクトなどを事業化プロジェクトとする甲斐市バイオマス産業都市構想を策定し、平成 27 年 10 月に、国のバイオマス産業都市に選定されました。	環境課

取組	事業内容	主な成果	担当課
鳥獣被害への防止対策	鳥獣による農作物や生態系への被害について、必要に応じて有害鳥獣の適切な捕獲に努めるなどの防止対策を支援しています。	<p>野生鳥獣による農林業等の被害防止対策を総合的かつ計画的に実施するため、甲斐市鳥獣害防止対策協議会を設置し、各種事業に取り組んでいます。</p> <p>○県営中山間地域総合整備事業により設置した防止柵を修繕。 1件(下芦沢地区) L=56.9m</p> <p>○平成27年度有害鳥獣捕獲実績 101羽(カラス67羽、スズメ28羽、ムクドリ6羽) 4頭(ニホンザル3頭、イノシシ1頭)</p> <p>○平成27年度管理捕獲実績 150頭(イノシシ49頭、ニホンジカ101頭)</p>	農林振興課
<p>自然環境の保護の推進</p> <p>【指標8】</p> <p>【指標9】</p> <p>【指標10】</p> <p>【指標13】</p>	<p>天然記念物等の貴重な自然を保護するため、市民参加型の環境保護活動を推進しています。</p> <p>また、自然観察会や自然を利用した場所での環境学習を推進しています。</p>	<p>新たな市民参加型の環境学習として、平成23年度より「自然観察ツアー」と「自然観察会」を企画・実施し、自然保護や身近な自然を体験することにより、環境保護活動の意識高揚を促しました。</p> <p>○環境ツアー「自然観察ツアー」 平成27年10月2日実施 富士山五合目散策 参加者40名</p> <p>○環境講座「自然観察会」 平成27年11月11日実施 昇仙峡遊歩道・板敷溪谷 参加者25名</p> <p>自然環境保全地区管理として茅ヶ岳・観音峠景観保全地区及び自然記念物であるホッチ峠のマンジュウ石について巡視、管理を行いました。</p> <p>[指標8] 茅ヶ岳・観音峠景観保全地区 1ヶ所</p> <p>[指標9] 自然観察会等開催 2回実施</p> <p>[指標10] 天然記念物の指定数 16</p> <p>[指標13] 総合計画の甲斐市市民アンケート 平成27年度実施なし</p> <p>参考:平成26年度結果 12.0%</p>	環境課

望ましい環境像③ 人と自然とが共生するまち

望ましい環境像 ③

人と自然とが共生するまち

【基本施策】

優れた景観の保全・整備

市街地の緑の創出

【施策の方向性】

良好な景観の保全
街並み景観の整備
優良宅地の供給の促進

市街地緑化の推進
公園整備の推進

取 組	事業内容	主な成果	担当課
棚田・里地里山の景観	ふるさとの風景をつくる棚田を保全するため、市民団体等による活動を支援します。また、生活に密着した貴重な財産である里地里山について、人と自然との共生する場所として保全、活用を図っています。	○平成 27 年度敷島棚田等農耕文化保存協会会員 25 名 田植え、定期総会他 年 14 回活動	農林振興課
優れた眺望景観の保全・活用	市内には、富士山や茅ヶ岳などの眺望が素晴らしい場所が多く存在するので、そのような場所を観光スポットとして生かす取り組みを行っていきます。	関係各課で構成する庁内検討会及び有識者や関係団体の推薦する者、市民などで構成する策定委員会において素案の検討を行い、平成 27 年 2 月に甲斐市景観計画を策定しました。その中で、優れた眺望景観は、甲斐市の景観特性であり、守り生かす取り組みを景観まちづくりの基本方針の一つとしています。 ・ワインツーリズム（ワイナリーを中心とした特産めぐりツアー） 参加者：約 520 名（甲斐市流入数、他市全体 2,227 名申込み） ・観光巡回バス（農産物直売所、もぎ取り等体験箇所ルートの無料巡回） 利用者：約 405 名（全 6 日間）	都市計画課 商工観光課
市街地における良好な景観の創出 【指標 1 1】 【指標 1 2】 【指標 1 4】	市民や事業者の協力を得て、市街地景観や沿道景観を保全し、潤いややすらぎを感じられる都市空間の創造に取り組んでいます。	市民等から公募したメンバーによる市民懇談会から、本市の景観形成の方向性や景観を支える活動のあり方などを協議・検討した成果をまとめた「景観まちづくり市民プラン」が市に提案されました。その提案を基に、市民・行政・事業者等の協働による景観まちづくりについて検討を進め、平成 27 年 2 月に甲斐市景観計画を策定しました。 [指標 11] 地域計画(篠原地区 23.8ha) 建築協定(響が丘 24.2ha、四ツ谷 1.3ha) 合計 49.3ha [指標 12] 総合計画の甲斐市市民アンケート 平成27年度実施なし 参考:平成26年度結果 68.8% [指標 14] 総合計画の甲斐市市民アンケート 平成27年度実施なし 参考:平成26年度結果 55.8%	都市計画課

取組	事業内容	主な成果	担当課										
景観施策の推進	良好な景観の魅力を引き立てるため、景観に関する基本的な施策の方向性について検討しています。	関係各課で構成する庁内検討会及び有識者や関係団体の推薦する者、市民などで構成する策定委員会において素案の検討を行い、平成27年2月に甲斐市景観計画を策定しました。同計画及び平成27年4月に施行された甲斐市景観条例に基づき、良好な景観の保全を推進しています。	都市計画課										
花と緑のあふれるまちづくり	「ガーデンシティ・甲斐」の実現に向け、「花と緑のまちづくり推進協議会」と連携して市民の緑化意識の高揚を図っています。	<p>市内の公共施設や道路沿い、広場などの花壇は甲斐市花と緑のまちづくり推進協議会で維持管理を行っています。また、年2回、春と秋に一斉植花を実施しており、春は松葉ボタンとベゴニア、冬はビオラとパンジーを植花しています。</p> <table border="1" data-bbox="1032 619 1753 699"> <thead> <tr> <th></th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>団体数</td> <td>58団体</td> <td>61団体</td> <td>64団体</td> <td>66団体</td> </tr> </tbody> </table>		24年度	25年度	26年度	27年度	団体数	58団体	61団体	64団体	66団体	都市計画課
	24年度	25年度	26年度	27年度									
団体数	58団体	61団体	64団体	66団体									
宅地開発等に係わる適正な環境指導・規制の推進	民間の宅地開発等に対する適切な指導・誘導を行うとともに、暮らしやすい住環境の整備に努めています。	平成18年4月、県から都市計画法及び宅地開発事業の基準に関する条例の事務移譲を受け、市が申請受付、許可等の事務処理を行う中で、適切な指導を行っています。	建設課（H27） （H28から都市計画課に移管）										
市街地整備の推進	地域に息づく歴史・文化や豊かな自然環境などの特性を生かした良質な都市空間の形成を図り、市民が誇りと愛着を感じることができるまちづくりを推進します。	<p>塩崎駅周辺整備事業において、歴史・文化や豊かな自然環境などの特性を生かしながら、JR塩崎駅の整備に取り組んでいます。</p> <p>また、JR塩崎駅、公共施設及び大規模集客施設（ラザウォーク甲斐双葉）をアクセスする市道改良に伴い、国道、県道の一体工事を進めています。</p>	都市計画課										

取 組	事業内容	主な成果	担当課																								
緑化の推進 【指標15】	市民・地域・企業などと連携して、市内の住宅や公共用地への植栽を進め、花と緑のあふれるまちづくりを推進しています。	市では、住宅や事業所の公道に面した部分に、補助用件に該当する生け垣・花壇を新設する場合、その費用の一部を補助する制度を推進しています。 <table border="1" data-bbox="938 405 1823 560"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>補助件数</th> <th>生垣延長</th> <th>花壇面積</th> <th>植樹数</th> <th>花き数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>25</td> <td>11件</td> <td>118m</td> <td>6 m²</td> <td>291本</td> <td>40株</td> </tr> <tr> <td>26</td> <td>5件</td> <td>47m</td> <td>20 m²</td> <td>178本</td> <td>46株</td> </tr> <tr> <td>27</td> <td>10件</td> <td>64m</td> <td>113 m²</td> <td>585本</td> <td>135株</td> </tr> </tbody> </table> [指標15] 総合計画の甲斐市市民アンケート 平成27年度実施なし 参考:平成26年度結果 61.7%	年度	補助件数	生垣延長	花壇面積	植樹数	花き数	25	11件	118m	6 m ²	291本	40株	26	5件	47m	20 m ²	178本	46株	27	10件	64m	113 m ²	585本	135株	都市計画課
年度	補助件数	生垣延長	花壇面積	植樹数	花き数																						
25	11件	118m	6 m ²	291本	40株																						
26	5件	47m	20 m ²	178本	46株																						
27	10件	64m	113 m ²	585本	135株																						
緑のカーテンの普及	各公共施設の管理者に対し、ゴーヤやアサガオなどのつる性植物による「緑のカーテン」の設置を呼びかけています。また、市民、事業所での取り組みを推進しています。	市役所庁舎や学校・保育園等の公共施設において、緑のカーテンに取り組みました。 また、市民への啓発事業として「緑のカーテンづくり講座」を開催するとともに、講座参加者のうちモニター4名を決定し、実際に取り組みを行うなかで、その取り組みをホームページで公表しました。	環境課																								
都市公園の整備 【指標16】	既存公園の配置状況や今後の人口動向を勘案しつつ、公園未整備地区への都市公園の整備を検討します。また、既存市立公園等に対する都市公園の位置づけを図っています。	今後は、現在計画中の上八幡公園を含めて市民1人当たりの都市公園面積が8.0 m ² となるよう、公園整備を進めます。 [指標16] 都市公園面積 52.94ha/H28年3月末人口 74,475人≒7.1 m ² /人	都市計画課																								

取組	事業内容	主な成果	担当課																				
身近な憩いの場の設置	土地所有者の理解を得て、花の名所、社寺林、遊休地、ため池などの緑を生かした、身近で自然に親しめる憩いの場の設置を検討します。	平成 26 年度に地元中学校が、茅ヶ岳東部広域農道へ 200 本の植樹を行った桜の管理を地域ボランティア「桜の花を守る会」により実施しています。 花壇設置状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>25 年度</th> <th>26 年度</th> <th>27 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>民地など</td> <td>45 箇所</td> <td>41 箇所</td> <td>40 箇所</td> </tr> <tr> <td>国・県</td> <td>18 箇所</td> <td>18 箇所</td> <td>18 箇所</td> </tr> <tr> <td>市</td> <td>71 箇所</td> <td>67 箇所</td> <td>67 箇所</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>134 箇所</td> <td>126 箇所</td> <td>125 箇所</td> </tr> </tbody> </table>		25 年度	26 年度	27 年度	民地など	45 箇所	41 箇所	40 箇所	国・県	18 箇所	18 箇所	18 箇所	市	71 箇所	67 箇所	67 箇所	合計	134 箇所	126 箇所	125 箇所	都市計画課
	25 年度	26 年度	27 年度																				
民地など	45 箇所	41 箇所	40 箇所																				
国・県	18 箇所	18 箇所	18 箇所																				
市	71 箇所	67 箇所	67 箇所																				
合計	134 箇所	126 箇所	125 箇所																				
ポケットパークの設置	主要な交差点や道路、河川沿いなどにおいて、整備後の残地を利用したポケットパークの設置を進めています。	竜王駅周辺整備に伴い設置された、3 箇所のポケットパークを管理しており、平成 24 年度から、県事業の貢川の河川改修に併せて設置された 1 箇所を山梨県と管理協定を締結し、管理しています。 ○市内ポケットパーク設置数：4 箇所	都市計画課																				
緑の情報提供	花や紅葉などの季節の情報や、市民・企業の活動状況、緑化施策の内容などの情報について、広報やホームページ等により幅広い情報の提供に努めています。	年間を通じて、緑化に関する基準、生け垣設置補助の推進、緑化記念樹の交付、甲斐市花と緑のまちづくり推進協議会に関すること、また、親子ふれ愛寄せ植え教室においては、JR 竜王駅南北自由通路への展示及びホームページへの掲載をしています。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業</th> <th>広報</th> <th>ホームページ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緑化に関する基準</td> <td>今後掲載する方向</td> <td>常時掲載中</td> </tr> <tr> <td>生け垣・花壇補助</td> <td>2 回</td> <td>常時掲載中</td> </tr> <tr> <td>記念樹の交付</td> <td>今後掲載する方向</td> <td>常時掲載中</td> </tr> <tr> <td>花と緑のまちづくり推進協議会</td> <td>今後掲載する方向</td> <td>常時掲載中</td> </tr> <tr> <td>親子寄せ植え教室</td> <td>開催・報告各 1 回</td> <td>開催・報告各 1 回</td> </tr> </tbody> </table>	事業	広報	ホームページ	緑化に関する基準	今後掲載する方向	常時掲載中	生け垣・花壇補助	2 回	常時掲載中	記念樹の交付	今後掲載する方向	常時掲載中	花と緑のまちづくり推進協議会	今後掲載する方向	常時掲載中	親子寄せ植え教室	開催・報告各 1 回	開催・報告各 1 回	都市計画課		
事業	広報	ホームページ																					
緑化に関する基準	今後掲載する方向	常時掲載中																					
生け垣・花壇補助	2 回	常時掲載中																					
記念樹の交付	今後掲載する方向	常時掲載中																					
花と緑のまちづくり推進協議会	今後掲載する方向	常時掲載中																					
親子寄せ植え教室	開催・報告各 1 回	開催・報告各 1 回																					
緑豊かな生活環境の創出	緑豊かな生活環境を創出し、潤いあるまちづくりの推進を図っています。	市民の新築や誕生、結婚時に記念となる苗木を配布し、生活環境での緑の創出を図っています。 ○平成 27 年度苗木配布数：493 本（年 3 回に分けて配布） ○苗木の種類：ハナミズキ赤・白、カシ、月桂樹、モミジ、ゴールドクレスト	都市計画課																				

望ましい環境像④ 循環型社会づくりが進むまち

望ましい環境像 ④

循環型社会づくりが進むまち

【基本施策】

廃棄物の発生抑制

リサイクルの推進

【施策の方向性】

ごみ・し尿処理施設の検討・研究

ごみの発生・排出の抑制

環境にやさしいまちづくりの
推進

廃棄物の分別の徹底と有効利用

取組	事業内容	主な成果	担当課																				
広域処理施設の維持管理等	各広域処理施設の状況に応じ、施設のあり方や維持管理について検討・研究するとともに、県内自治体で整備する廃棄物最終処分場の建設・運営に参画します。	<p>本市のごみを処理している中巨摩地区広域事務組合と峡北広域行政事務組合は、それぞれに施設の償却と地元協定期限があることから、各組合事務局との連絡を密にして、情報等の収集・共有に努めました。</p> <p>また、昨年度まで建設に向けた組織の立ち上げに協力していた県内一般廃棄物最終処分場については、平成27年5月から本工事に着工しています。</p>	環境課																				
し尿の適切な処理の推進	し尿処理方法について、公共下水道や合併浄化槽の普及を進め、広域排水処理の改善を図っています。	公共下水道、農業集落排水処理事業、地域し尿処理施設、市町村設置型合併浄化槽整備事業において、それぞれ事業の推進・維持管理等により、適正なし尿の処理を進めています。	環境課 下水道課																				
<p>ごみ減量化の推進と一般廃棄物の適正な収集</p> <p>【指標18】</p>	ごみの分別収集の徹底等により、ごみの減量化を推進しています。また、家庭から排出されるごみを計画的に収集するとともに、分別方法やルールなどの周知徹底を行い、適正な排出を促しています。	<p>自治会（区）を通じてのごみカレンダーの市内全戸配布、ホームページへの掲載により、ごみの収集日や区分別の内容、注意事項等を周知し、市民の適正なごみの分別・収集を促しました。</p> <p>平成27年度のごみの総処理量は、16,363.1tでした。また、一人1日あたりのごみの排出量は599gでした。</p> <p>○ごみの処理量</p> <table border="1" data-bbox="958 962 1827 1115"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>可燃ごみ</th> <th>不燃ごみ</th> <th>粗大ごみ</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成25年度</td> <td>14,950.8 t</td> <td>1,056.5 t</td> <td>317.6 t</td> <td>16,324.9 t</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>14,988.4 t</td> <td>1,034.9 t</td> <td>335.6 t</td> <td>16,358.9 t</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>14,997.4 t</td> <td>1,030.6 t</td> <td>335.1 t</td> <td>16,363.1 t</td> </tr> </tbody> </table> <p>また、ごみ収集小屋の新設・修繕について補助金制度を設け、管理者である自治会（区）の経費負担を軽減し、ごみ収集の環境を整えています。</p> <p>○平成27年度実績：33件（1,718,965円）新設15件、修繕18件</p> <p>[指標18] 一人一日あたりのごみの排出量16,363.1t/74,810人/365日≒ 599g</p>	年度	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	計	平成25年度	14,950.8 t	1,056.5 t	317.6 t	16,324.9 t	平成26年度	14,988.4 t	1,034.9 t	335.6 t	16,358.9 t	平成27年度	14,997.4 t	1,030.6 t	335.1 t	16,363.1 t	環境課
年度	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	計																			
平成25年度	14,950.8 t	1,056.5 t	317.6 t	16,324.9 t																			
平成26年度	14,988.4 t	1,034.9 t	335.6 t	16,358.9 t																			
平成27年度	14,997.4 t	1,030.6 t	335.1 t	16,363.1 t																			

取組	事業内容	主な成果	担当課																		
グリーン購入の推進	市の物品調達においてグリーン購入を進めています。	従前から古紙配合用紙の購入、裏面利用、回収古紙の提供によるトイレットペーパーの購入、分別収集などを実施し、環境負荷の減少を図っています。	総務課																		
生ごみの減量化	家庭から排出する生ごみについて、ごみの減量化と有機肥料としての有効利用のため、生ごみ処理機の購入に対して支援しています。	<p>生ごみの液肥化・堆肥化を目指した液肥・堆肥活用農業振興プロジェクトなどを事業化プロジェクトとする甲斐市バイオマス産業都市構想を策定し、国のバイオマス産業都市に選定されました。</p> <p>また、市民の生ごみ処理機の購入に対する補助金交付制度（補助金の額：購入費の2分の1（限度額2万円））を設け、一般家庭における生ごみの減量化・肥料化を促しました。</p> <p>○平成27年度実績：26件（274,000円）</p>	環境課																		
剪定枝の回収	果樹や庭木等の剪定枝の回収を行い、廃棄物かを防ぐとともに、チップの有効活用を図っています。	<p>市内2か所の剪定枝処理場において、市民が持ち込む剪定枝や市公共施設の剪定枝を受入れて粉碎・チップ化し、希望者に配布しました。</p> <p>○平成27年度実績</p> <table border="1" data-bbox="981 930 1827 1118"> <thead> <tr> <th rowspan="2">処理場</th> <th colspan="2">持ち込み</th> <th rowspan="2">搬出</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>西八幡剪定枝粉碎場</td> <td>6,182件</td> <td>899.0t</td> <td>485件</td> </tr> <tr> <td>自然休養村管理センター</td> <td>2,348件</td> <td>183.5t</td> <td>569件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>8,530件</td> <td>1,082.5t</td> <td>1,054件</td> </tr> </tbody> </table>	処理場	持ち込み		搬出	件数	数量	西八幡剪定枝粉碎場	6,182件	899.0t	485件	自然休養村管理センター	2,348件	183.5t	569件	計	8,530件	1,082.5t	1,054件	環境課
処理場	持ち込み			搬出																	
	件数	数量																			
西八幡剪定枝粉碎場	6,182件	899.0t	485件																		
自然休養村管理センター	2,348件	183.5t	569件																		
計	8,530件	1,082.5t	1,054件																		

取 組	事業内容	主な成果	担当課										
資源物の回収 【指標 1 7】	リサイクル率の向上を図るため、自治会や団体等が行う資源物の回収活動に対して支援しています。 また、リサイクルステーションの利用について周知を図っています。	資源再利用（有価物回収）運動報奨金交付制度により、自治会（区）や育成会、老人クラブ等 114 団体が行うリサイクル活動に対して、5 円/kg の報奨金を交付しました。 また、竜王・敷島・双葉地区にリサイクルステーションを設置し、資源ごみの回収について市民の利便性を図るとともに、ホームページにおいて、リサイクルステーションの利用や収集方法等について周知しました。 ○平成 27 年度資源再利用（有価物回収）運動報奨金交付制度 <table border="1" data-bbox="983 568 1834 683"> <thead> <tr> <th colspan="2">実施団体</th> <th rowspan="2">回収量 (自治会等)</th> <th rowspan="2">報奨金</th> </tr> <tr> <th>団体数</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>114 団体</td> <td>1,384 回</td> <td>1,400 t</td> <td>6,709,050 円</td> </tr> </tbody> </table> ○平成 27 年度資源ごみ回収量：2,876.3 t（リサイクルステーション分 1,476.0t） [指標 1 7] 資源ごみ/一般廃棄物処理量（広域処理+資源ごみ） $2,876.3t / (16,363.1t + 2,876.3t) \approx 15.0\%$	実施団体		回収量 (自治会等)	報奨金	団体数	回数	114 団体	1,384 回	1,400 t	6,709,050 円	環境課
実施団体		回収量 (自治会等)	報奨金										
団体数	回数												
114 団体	1,384 回	1,400 t	6,709,050 円										
分かり易い分別活動の周知	広報やパンフレット等により、分かり易い適正な分別方法を提供し、廃棄物の分別の重要性や必要性について周知しています。	広報やホームページにおいて、分別方法等について周知しました。 また、平成 23 年度から紙ごみの減量・分別を促進するため、「その他紙」として分別収集していた紙類の内容を拡大し、「ミックス紙」として分別収集を開始しました。	環境課										
廃食油の回収及び B D F の利用 【指標 1 9】	一般家庭等から排出される廃食油を回収し、バイオディーゼル燃料（B D F）として有効に活用しています。	給食センター等の公共施設の廃食油や、竜王・敷島・双葉の 3 庁舎で一般家庭からの廃食油を回収し、民間業者に提供して B D F を精製しています。 また、精製した B D F は、ごみ収集運搬車の燃料として使用しました。 ○平成 27 年度廃食油回収量及び B D F 精製量 <table border="1" data-bbox="983 1270 1834 1345"> <thead> <tr> <th>3 庁舎</th> <th>公共施設</th> <th>計</th> <th>B D F 精製量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,300ℓ</td> <td>8,837ℓ</td> <td>11,137ℓ</td> <td>10,023ℓ</td> </tr> </tbody> </table> [指標 1 9] 3 庁舎における回収量 2,300ℓ	3 庁舎	公共施設	計	B D F 精製量	2,300ℓ	8,837ℓ	11,137ℓ	10,023ℓ	環境課		
3 庁舎	公共施設	計	B D F 精製量										
2,300ℓ	8,837ℓ	11,137ℓ	10,023ℓ										

望ましい環境像⑤ 地球環境の保全を推進するまち

望ましい環境像 ⑤

地球環境の保全を推進するまち

【基本施策】

再生可能エネルギーの
利用促進

地球温暖化の防止

【施策の方向性】

新エネルギーの調査・研究
再生可能エネルギーの普及・促進

低炭素社会の構築
省エネルギーの推進

取組	事業内容	主な成果	担当課
再生可能エネルギー賦存量の調査	原子力や化石燃料による電力供給の依存を脱却するため、本市における再生可能エネルギーの賦存量を調査し、新たなエネルギーの可能性を予測・評価します。	市内バイオマスの賦存量を調査の上、木質バイオマスエネルギーの導入を検討し、木質バイオマス発電プロジェクトなどの事業化プロジェクトを設定した甲斐市バイオマス産業都市構想を策定し、平成27年10月に、国のバイオマス産業都市に選定されました。	環境課
バイオマス資源の利用方法の確立	農業活動や森林の間伐等から発生する木材について、バイオマス資源のエネルギーとしての有効な利用方法を検討しています。	間伐材・林地残材等を活用した木質バイオマス発電プロジェクトなどを事業化プロジェクトとする甲斐市バイオマス産業都市構想を策定し、平成27年10月に、国のバイオマス産業都市に選定されました。 平成26年度から、市立の小中学校や保育園の給食残渣を回収して液肥化する事業を開始し、市民への配布や農業者への提供を行っています。	環境課
公共施設への再生可能エネルギーの導入 【指標20】	市の公共施設について、再生可能エネルギー設備の導入効果（費用対効果）を評価し、設備の設置を検討します。	木質バイオマス発電所の排熱を公共施設や農業施設に供給する、熱供給プロジェクトなどを事業化プロジェクトとする、甲斐市バイオマス産業都市構想を策定し、平成27年10月に国のバイオマス産業都市に選定されました。また、総務省委託事業として分散型エネルギーインフラプロジェクトマスタープラン策定事業に取り組み、甲斐市バイオマス産業都市構想に基づく公共施設及び農業施設への熱供給について、有効性の検討を行いました。 庁舎や学校等に太陽光発電パネルや地中熱ヒートポンプ、街路灯に蓄電池を備えた太陽光発電パネルを設置しています。 平成27年度は、屋根貸し事業として、竜王保健福祉センター、敷島南小学校、竜王小学校、敷島中学校にそれぞれ太陽光発電設備（各施設とも、最大出力：約50kW）を設置しました。 [指標20] 20箇所 矢木羽湖公園、玉幡公園、竜王駅、塩崎駅、釜無川レクリエーションセンター、竜王庁舎、敷島庁舎、竜王図書館、竜王北小学校、双葉体育館、竜王中央保育園、島上条公園、竜王東保育園、敷島保育園、竜王北保育園、竜王西保育園、竜王保健福祉センター、竜王小学校、敷島南小学校、敷島中学校	環境課 総務課

取 組	事業内容	主な成果	担当課												
太陽エネルギー利用設備導入の推進 【指標 2 1】	一般住宅における再生可能エネルギー利用設備の導入を普及・拡大するため、太陽光発電システムや太陽熱利用機器の設置を推進しています。	平成 24 年度から太陽エネルギー利用設備導入促進奨励金交付制度を導入し、太陽光システム及び太陽熱システムの設置を推進しました。 平成 27 年度実績 ○太陽光 146 件（累計 1,113 件） ○太陽熱 10 件（累計 18 件） [指標 2 1] （平成 24 年末東電調査件数 1,599 件＋平成 25 年度実績 394 件＋平成 26 年度実績 255 件＋平成 27 年度実績 156 件） / 31,177 世帯≒7.71%	環境課												
メガソーラー発電所の誘致	市独自のメガソーラー発電所の誘致について研究します。また、県や民間企業が行うメガソーラー発電所の設置事業について協力しています。	敷島地区（大明神）、双葉地区（菖蒲沢）におけるメガソーラーの設置計画について、事業者に対し、生活環境等への影響を十分考慮した対応を求める指導を行いました。	環境課												
新エネルギーに関する普及・啓発	広報やホームページ、環境学習会を通じて、新エネルギーに関する情報の提供、普及・啓発に努めています。	平成 20 年度から実施している親子環境ツアーでは、「新エネルギー」をテーマとして実施しており、平成 27 年度は、38 組 76 名の親子が参加し、「LION 小田原工場」「神奈川県立生命の星・地球博物館」で環境、新エネルギーについて学習しました。	環境課												
地球温暖化対策実行計画の推進 【指標 2 4】	地球温暖化対策実行計画に基づき、市の事務事業における温室効果ガスの排出削減に取り組みます。また、市民、事業者等を含めた市全域の温室効果ガス排出削減を総合的・計画的に推進する「新地球温暖化対策実行計画」の策定について検討します。	平成 24 年度まで第 1 次エコアクションプランに基づき削減率 4%の目標を大幅に達成しました。平成 25 年度からは第 2 次エコアクションプランに基づき取組を行いました。 （単位：kg-CO2） <table border="1" data-bbox="958 1145 1809 1315"> <thead> <tr> <th>平成 18 年度 （基準年度）</th> <th>平成 25 年度 （第 2 次 1 年目）</th> <th>平成 26 年度 （第 2 次 2 年目）</th> <th>平成 27 年度 （第 2 次 3 年目）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6,070,855</td> <td>5,308,923</td> <td>5,155,256</td> <td>5,086,446</td> </tr> <tr> <td></td> <td>△ 12.55%</td> <td>△ 15.08%</td> <td>△ 16.22%</td> </tr> </tbody> </table> また、これらの内容については、ホームページで公表します。 [指標 2 4] 目標達成率 16.22%	平成 18 年度 （基準年度）	平成 25 年度 （第 2 次 1 年目）	平成 26 年度 （第 2 次 2 年目）	平成 27 年度 （第 2 次 3 年目）	6,070,855	5,308,923	5,155,256	5,086,446		△ 12.55%	△ 15.08%	△ 16.22%	環境課
平成 18 年度 （基準年度）	平成 25 年度 （第 2 次 1 年目）	平成 26 年度 （第 2 次 2 年目）	平成 27 年度 （第 2 次 3 年目）												
6,070,855	5,308,923	5,155,256	5,086,446												
	△ 12.55%	△ 15.08%	△ 16.22%												

取組	事業内容	主な成果	担当課																								
<p>市内公共交通の充実</p> <p>【指標22】</p> <p>【指標23】</p>	<p>自動車による温室効果ガス削減に向けて、環境負荷が少ない交通環境を整えるため、甲斐市民バスの運行を実施しています。</p> <p>今後も利用状況を検証しながら、運行の継続を図ります。</p>	<p>平成24年度に実証運行を終え、25年度から本格運行を実施しました。平成26・27年度ともに運行継続基準を下回る路線があったことから、市民のニーズに即した改善策を提案しています。</p> <p>【甲斐市民バス 1便あたり利用者】</p> <table border="1" data-bbox="940 435 1848 719"> <thead> <tr> <th>路線名</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>運行継続基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>山梨大学医学部附属病院線</td> <td>5.06人</td> <td>4.88人</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>竜王～双葉線</td> <td>4.31人</td> <td>3.47人</td> <td rowspan="6">3人</td> </tr> <tr> <td>敷島～双葉線</td> <td>4.06人</td> <td>2.87人</td> </tr> <tr> <td>敷島北部線(睦沢・清川方面)</td> <td>3.29人</td> <td>3.30人</td> </tr> <tr> <td>敷島北部線(清川・仲町方面)</td> <td>-</td> <td>0.86人</td> </tr> <tr> <td>双葉北部線</td> <td>3.03人</td> <td>2.83人</td> </tr> </tbody> </table> <p>[指標22] 総合計画の甲斐市市民アンケート調査 平成27年度実施なし 参考:平成26年度結果 36.2%</p> <p>[指標23] 山梨県統計データバンクより→0.96台</p>	路線名	26年度	27年度	運行継続基準	山梨大学医学部附属病院線	5.06人	4.88人	5人	竜王～双葉線	4.31人	3.47人	3人	敷島～双葉線	4.06人	2.87人	敷島北部線(睦沢・清川方面)	3.29人	3.30人	敷島北部線(清川・仲町方面)	-	0.86人	双葉北部線	3.03人	2.83人	<p>企画財政課</p>
路線名	26年度	27年度	運行継続基準																								
山梨大学医学部附属病院線	5.06人	4.88人	5人																								
竜王～双葉線	4.31人	3.47人	3人																								
敷島～双葉線	4.06人	2.87人																									
敷島北部線(睦沢・清川方面)	3.29人	3.30人																									
敷島北部線(清川・仲町方面)	-	0.86人																									
双葉北部線	3.03人	2.83人																									
<p>公用車へのエコカーの導入</p>	<p>市の公用車については、適正な台数を把握し、買い替え時には低燃料車やハイブリット車の導入に努めています。</p>	<p>適正な車両台数に努め、地球温暖化防止、省エネルギー等を図りました。</p>		<p>総務課</p>																							
<p>家庭における省エネ行動の促進</p>	<p>家庭におけるエネルギーの消費量や温室効果ガスの排出量を把握するための環境家計簿を周知・啓発し、家庭における省エネルギー活動を促進します。</p>	<p>環境家計簿を窓口で配布し、家庭における省エネルギー活動の促進を行いました。</p> <p>また、市民への啓発事業として「緑のカーテンづくり講座」を開催するとともに、講座参加者のうちモニター4名を決定し、実際に取り組みを行うなかで、その取り組みをホームページで公表しました。</p>	<p>環境課</p>																								

取組	事業内容	主な成果	担当課
節電の周知・啓発	節電行動計画に基づき、市が率先して節電対策に取り組むとともに、市民、事業者に対して節電の取り組みや省エネルギー活動を促進するための周知、啓発を行なっています。	東日本大震災以降、市公共施設で新電力への切替や節電に努めた結果、平成 27 年度は前年と比較して 209,116kWh の電力を削減しました。また、広報やホームページに、家庭における省エネルギー、節電への意識を高める記事を掲載し、周知・啓発を行いました。	環境課 総務課
クールビズ、ウォームビズの普及促進	オフィス活動に伴うエネルギーの消費を減少するため、クールビズを市が率先して実施しています。	平成 27 年度は、5 月から 10 月までをクールビズを設定し、職員に周知するとともに、広報で実施についての記事を掲載しました。	環境課
公共施設への LED 照明等の省エネ機器の導入検討	市の公共施設の照明設備を調査、把握し、LED 照明への切り替えによる節電効果、費用対効果等について検証しています。	<p>公共施設の建設や増改築をする際は、費用対効果から省エネ照明器具等を選択しています。</p> <p>平成 27 年度は、本館内部改修工事により本館のトイレ全ての電球を LED 照明に交換しました。</p> <p>市内各所に設置されている防犯灯について、白色灯から LED 照明への交換を推進するとともに、各自治会に対しても LED 照明への転換に対する補助金を支給しました。</p> <p>また、玉幡中学校武道場天井改修工事に伴い、照明設備を LED 照明に切り替えました。</p> <p>竜王図書館内の照明について、蛍光灯から LED 照明に交換しました。</p>	環境課 総務課 市民活動支援課 (H28 から防災危機管理課へ移管) 教育総務課 図書館

望ましい環境像⑥ 各主体が協働で取り組むまち

望ましい環境像 ⑥

各主体が協働で取り組むまち

【基本施策】

協働の取組体制の構築

環境情報の提供と共有

【施策の方向性】

協働のまちづくりの推進

環境教育・学習の充実

環境情報の提供

取 組	事業内容	主な成果	担当課
<p>三位一体によるより良い環境づくり</p> <p>【指標 2 6】</p> <p>【指標 2 8】</p>	<p>本市の施策を効率的かつ効果的に推進するためには、従来の行政主体の運営から、市民、事業者、市の協働による取り組みが重要となります。特に身近な環境の維持保全には、市民や地域、事業者の参画が必要となることから、協働のまちづくり基本方針や自治基本条例などの制定を進めながら、三位一体によるより良い環境づくりに取り組みます。</p>	<p>協働のまちづくりを推進するため、平成 25 年度に制定した「甲斐市まちづくり基本条例」のパンフレットを作成し、行政委員及び市内 NPO 等に配布するとともに、市ホームページにおいて周知し、広報甲斐においても 11 月号から 7 回にわたり連載し、まちづくり基本条例と協働について周知しました。</p> <p>平成 27 年 1 月には、この甲斐市まちづくり基本条例を基に、協働のまちづくりを実践するため、市が行うべき基本的事項を示した「甲斐市・協働のまちづくり基本方針」を定めました。</p> <p>第 2 次甲斐市総合計画の策定に向け、平成 27 年 7 月に市民と行政との対話を通じて、市民の声をいかした協働のまちづくりを推進するため、本竜王地区自治会合同会議と市民対話集会を開催しました。</p> <p>平成 28 年 3 月には、「緑と活力あふれる生活快適都市」の実現をより確実なものにするため、新たに長期的な視点に立ち、「第 2 次甲斐市総合計画」を策定しました。</p> <p>この第 2 次甲斐市総合計画は、本市の最上位計画であり、人口減少と地域経済縮小の克服を目指しながら、まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立を目的とし、また、本計画の中で人口減少に特化した重点的プロジェクトとして位置づけ、「甲斐市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略」を平成 27 年 10 月に策定しました。</p> <p>[指標 2 6]平成 27 年度市民公募委員を含む附属機関 7/附属機関 63≒11%</p> <p>[指標 2 8]パブリックコメントを求めた件数→5 件</p>	<p>秘書政策課</p>
<p>各種団体との連携強化</p> <p>【指標 2 7】</p>	<p>NPO 法人・ボランティア団体等が、より効果的な活動が得られるよう、情報交換や相互交流など連携する場の確保に努めています。</p>	<p>NPO 法人・ボランティア団体等の情報交換・交流の場を設けるため他市町村市民活動担当者会議などに出席し、調査・研究を行いました。</p> <p>[指標 2 7]</p> <p>主たる事務所が甲斐市にあり活動内容に環境保全を掲げる NPO 法人数→8</p>	<p>市民活動支援課</p>

取 組	事業内容	主な成果	担当課
自治会組織の活性化	各地域の住民の自主的な活動を推進するため、自治会組織の活性化について支援しています。	自治会(区)の自主的かつ活発な活動を促すため、行政連絡調整交付金制度により、すべての自治会に対して世帯数に900円を乗じた交付金を交付しました。また、全自治会(区)を対象とした研修会及び役員会等を通じて、情報の提供や市の各事業を報告し、自治会(区)の活動・運営等についての円滑化に努めました。 ○平成27年度行政連絡調整費交付金総額：27,153,000円	市民活動支援課
環境教育の推進 【指標25】	学校教育や生涯学習と連動した環境学習を推進しています。 また、環境副読本を作成・配布しています。	市教育委員会で作成している社会科副読本「わたしたちの甲斐市」を市内小学校3・4年生に配布、甲斐市生活環境部環境課で作成した甲斐市環境副読本「わたしたちの街 甲斐」を市内小学校5年生に配布し、授業で活用しました。 小学校3・4年生では「くらしの中のごみ」を取り上げ、小学校中学年から環境問題について関心を持たせるよう努めました。小学校5年生では、水、ごみ、温暖化、公害など身近な教材を用いて調べたり考えさせたりしました。 社会科副読本の中で紹介しているごみ処理施設の見学も校外学習という形で実施しています。 また、市内公民館において、市民の参加募集を行い環境教育の講座を開催しました。 内容 洋服リフォーム教室 全5回 延べ30名参加	環境課 学校教育課 生涯学習文化課

取 組	事業内容	主な成果	担当課
環境に関する各種イベントの企画 【指標 2 5】	環境講座、環境ツアー等を企画し、市民、児童・生徒等の学生、事業者への情報提供や環境保全意識の啓発を図っています。	環境に関する意識の向上や地球温暖化や省エネ、自然環境の保全をテーマとした市民参加型の講座等を開催しています。 平成 27 年度は、環境講座 3 回、環境ツアー 2 回を実施し、計 5 回の市民参加型学習会を開催しました。 ○環境講座 ・緑のカーテンづくり講座 (5/23) 39 名参加 ・自然観察会「昇仙峡遊歩道・板敷溪谷」(11/11) 25 名参加 ・ラザウォーク エコ博 (11/7・8) 110 名参加 ○環境ツアー ・自然観察ツアー「富士山 5 合目散策」(10/2) 40 名参加 ・親子環境ツアー「LION 小田原工場」 「神奈川県立生命の星・地球博物館」(11/20) 38 組 76 名参加 [指標 2 5] 環境教育 1 回 環境に関する各種イベント 5 回 合計 6 回	環境課
環境に関する情報の提供 【指標 2 9】	環境に関するトピックスや最新情報、イベント開催等の情報を提供しています。	広報に「環境トピックス」の欄を設け、環境に関する情報を発信するとともに、ホームページの充実に努めて、市民との情報の共有を図りました。 [指標 2 9] わくわくフェスタにおいて、環境ブースを設置し、PRを行いました。→参加人数 50,000 人	環境課

【環境指標一覧】

	指標名	現況値		平成 27 年度 実績値	平成 27 年度 目標値	担当課
1	生活排水クリーン処理率	82.5%	H22	86.8%	85.3%	環境課
2	地域の清掃や美化活動に参加した市民の割合	76.8%	H21	—% (参考)H26:71.6%	80.0%	環境課
3	平均BOD値が 3mg/L 以下の中小河川の割合	70%	H22	84.2%	78%	環境課
4	公害苦情の件数	201 件	H22	318 件	150 件	環境課
5	認定農業者数	20 人	H21	33 人	24 人	農林振興課
6	耕作放棄地率	26.7%	H22	21.3%	24.1%	農林振興課
7	都市農山村交流事業への参加者数	18,776 人	H21	20,394 人	21,000 人	農林振興課
8	自然環境保全地域の指定数	1ヶ所	H21	1ヶ所	1ヶ所	環境課
9	自然観察会等の開催回数	0回	H21	2回	3回	環境課
10	天然記念物の指定数	17	H22	16	17	生涯学習 文化課

	指標名	現況値		平成 27 年度 実績値	平成 27 年度 目標値	担当課
1 1	景観地区の指定が望まれる面積	49.3ha	H21	49.3ha	49.3ha	都市計画課
1 2	地域に合った街並みがあると感じる市民の割合	68.6%	H21	—% (参考)H26:68.8%	73.0%	都市計画課
1 3	自然保護活動に参加する市民の割合	12.6%	H21	—% (参考)H26:12.0%	15.0%	環境課
1 4	計画的で秩序ある土地利用が行われていると感じる人の割合	54.9%	H21	—% (参考)H26:55.8%	60.0%	都市計画課
1 5	まちが花と緑に囲まれていると感じる市民の割合	54.4%	H19	—% (参考)H26:61.7%	60.0%	都市計画課
1 6	市民 1 人当たりの都市公園面積	6.13 m ² /人	H21	7.1 m ² /人	7.5 m ² /人	都市計画課
1 7	ごみのリサイクル率	15.9%	H22	15.0%	19.0%	環境課
1 8	一人一日あたりのごみ排出量	619.2 g	H22	599 g	610 g	環境課
1 9	一般家庭廃食油回収量	1,546L	H22	2,300L	2,000L	環境課
2 0	再生可能エネルギーによる発電設備の施設数	4ヶ所	H21	20ヶ所	10ヶ所	環境課

	指標名	現況値		平成 27 年度 実績値	平成 27 年度 目標値	担当課
2 1	市民の再生可能エネルギー設備利用率	2.85%	H22	7.71%	7.64%	環境課
2 2	公共交通機関の便利さに対する市民の満足度	15.1%	H21	—% (参考)H26:36.2%	23.0%	企画財政課
2 3	乗用車の世帯あたり保有台数	1.04 台	H21	0.96 台	1.00 台	企画財政課
2 4	甲斐市地球温暖化実行計画の目標達成率	2.43%	H22	16.22%	4%以上 (H24)	環境課
2 5	環境学習イベントの開催回数	4 回	H22	6 回	7 回	生涯学習文化課 環境課
2 6	市民公募委員を含む審議会などの割合	2.0%	H21	11%	30.0%	総務課
2 7	市内に主たる事務所を置く環境の保全を活動内容に掲げるNPO法人の数	9 団体	H21	8 団体	12 団体	市民活動支援課
2 8	パブリックコメントを求めた件数	5 件	H21	5 件	7 件	秘書政策課
2 9	全市的な催し・イベントへの参加者数	50,000 人	H21	50,000 人	55,000 人	商工観光課

※市民アンケートによって実績値を算出している 6 つの指標（地域の清掃や美化活動に参加した市民の割合・地域に合った街並みがあると感じる市民の割合・自然保護活動に参加する市民の割合・計画的で秩序ある土地利用が行われていると感じる人の割合・まちが花と緑に囲まれていると感じる市民の割合・公共交通機関の便利さに対する市民の満足度）については、平成 27 年度の実績値がありません。※平成 26 年度末の実施結果を参考に表示しています。